

## 『あいの助』<sup>すけ</sup>

### コンセプト

心地よい『あいの風』に包み込まれるホトトギス

「あいの風に乗るような心地よさ」を表すため、春から夏にかけて「あいの風」が吹く頃にやってくる渡り鳥「ホトトギス」が、風に包まれ幸せになっているキャラクターとしました。

安全第一の運行に努める当社線を利用するお客様に「あいの風」に包まれ、守られているような安心感を感じてほしいという願いが込められています。

ホトトギスは、万葉集の中で幾度となく詠まれ、大伴家持がこよなく愛したと言われています。また、時を告げる鳥「時鳥(ホトトギス)」ともいわれ、定時運行に努める当社の姿勢を表しています。



### プロフィール

性別	男子	好きなこと	あいの風に乗ること、おしゃべり
年齢	10歳	苦手なこと	大雨、強風
誕生日	3月14日 <small>(あいの風とやま鉄道の開業日)</small>	性格	心やさしく、人懐っこい
身長・体重	なししよ	好きな食べ物	富山の幸！とくにお寿司が大好き！ <small>(「一万三千尺物語」で食べた握りたての富山湾鰯の味が忘れられない)</small>
		得意なこと	ぴったりの時をお知らせすること

### STORY

古く万葉集の時代から「幸せを運ぶ風」として親しまれている「あいの風」。富山県を東西に横断するあいの風とやま鉄道の沿線にも、「出会い」と「愛」に満ちた、心地よい風が吹いていた。

ある日、そこに居心地のよい住処を求め旅をしている1羽のホトトギスが訪れた。

ホトトギスは、いろんな土地をみてきたけれど、こんなに気持ちの良い風に乗ったのは初めてだった。

それから毎日「あいの風」に乗っているうちにここが自分の居場所だと思うようになった。

「あいの風」の心地よさを、より多くの人に感じてもらいたい。

そんな気持ちで、ぴったりの時をお知らせする特技をかしながら、あいの風とやま鉄道で日々車掌さんのお手伝いをしている。

### ポーズデザイン

#### 喜ぶ



#### お辞儀



#### 敬礼



#### 方向を示す(左・右)



#### 注意喚起



#### あいの風に乗って飛ぶ

